概要

Coupa の標準統合はポーリング スケジュールで実行されます。つまり、Coupa は、ターゲット システムを定期的に問い合わせて、データを統合する必要があるかどうかを判断します。ポーリング スケジュールの頻度は、ビジネス オブジェクトごとに制御できます。

スケジュール頻度

通常、マスタデータまたは参照データは日単位で統合され、トランザクションデータは時間単位で統合されます。Coupa (またはパートナー) 統合技術チームと協力して、各ビジネスオブジェクトに適切な頻度を決定できます。

スケジュール時間

統合によって生成される追加のシステム負荷の影響を最小限に抑えるために、毎日同期されるデータを「非ピーク」時間(例えば午前4時)に実行することをお勧めします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ビジネス オブジェクト | プライマリシステム | 同期システム | 統合の頻度 |
| ユーザー | 人事制度 | カット | 毎日 |
| アカウント コード | 金融システム | カット | 毎日 |
| サプライヤー | 金融システム | カット | 毎日 |
| 発注書 | カット | 金融システム | 時間 |
| 発注書のリビジョン | カット | 金融システム | 時間 |
| 請求 書 | カット | 金融システム | 時間 |
| 請求書の無効/クレジットメモ | カット | 金融システム | 時間 |
| 請求書支払 | 金融システム | カット | 時間 |
| 為替レート | 金融システム | カット | 毎日 |
| 予算ライン情報 | 金融システム | カット | 毎日 |
| 経費明細行 | 金融システム | カット | 時間 |

ファイル名

統合の方法によっては、特定のファイル形式が必要になる場合があります。統合を合理化するために、Coupa は CSV ファイルと ZIP ファイルとしてフォーマットされたファイルとの間で、ファイル サイズの制限が 8 MB のデータを読み込みます。

実装マネージャーは、これらの形式を提供できます。ファイルの形式に加えて、Coupaから生成されたファイルやお客様から必要なファイルに対する特定の命名規則もあります。

これらのファイル名については、以下の表を参照してください、ファイルが互いに上書きされないように、日付のタイムスタンプをメモしてください。ファイル形式名を変更する必要がある場合は、次の表に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ビジネス オブジェクト | ファイル名 |
| ユーザー | users\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> |
| アカウント コード | accounts\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> |
| サプライヤー | suppliers\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> |
| 発注書 | orders\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> |
| 発注書のリビジョン | order\_revisions\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> |
| 請求書、請求書の無効、およびクレジットメモ | invoices\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> |
| 請求書支払 | payments\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> |
| 為替レート | fx\_rates\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> System |
| 予算ライン情報 | budget\_lines\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> |
| 経費明細行 | expenses\_<ddmmyyhhmmss>.<file format> |